

～ 異年齢交流体験学習 ～

豊かな心



少子化、核家族化が進む中で、子供は自分一人という家庭が多くなってきています。その中で、年齢の違う者同士の交流の経験が希薄化する傾向にあります。そこで、異年齢が同時に同じ体験的活動を行うことで、豊かな体験、交流、ふれあいの場を作り出すとともに、中学生は小学生を助け、小学生は中学生に学ぶ機会としました。また、年度ごとに「ジグソー法」、「食育」、「伝える力」とテーマを設定することで、小中合同で活動を行ないました。



テーマ ①

ジグソー法

自分の考えについて、仲間や先生を説得したり、また、仲間の考えを納得したりする場を設定し、自信を高めた。

テーマ ②

食育

学校における食に関する指導の一層の充実と家庭による食への意識の向上を図った。

テーマ ③

伝える力

他者との関わり合いを重視した活動や交流を取り入れ、コミュニケーション能力のさらなる育成を図った。

国際交流



中3・小6

「異文化体験学習」

「多言語体験学習」

食育



○中2・小5

「成長期の食事と運動」

「健康なからだ作りの

ための食習慣」

福祉



○中1・小4

「インクルーシブな生き方」

「アイマスク体験」

「パラリンピック学習」

～心をつなぐ取組①～

豊かな心



小中をつなぐ取組として、中学生が小学校で行う「あいさつ運動」、小学生が中学校で行う「あいさつ運動」を定期的に行っています。

また、春日部市小学校陸上競技大会に合わせ、小学校の陸上指導に本校の陸上競技部が参加して、交流を行っています。

夏季休業中には、小中合同学習会を行い、ともに学習し、わからないところがある時には、中学生が小学生に勉強を教える交流も行なっています。



○小中あいさつ運動

各学期、小学校1回、中学校2回

○小中交流陸上競技指導

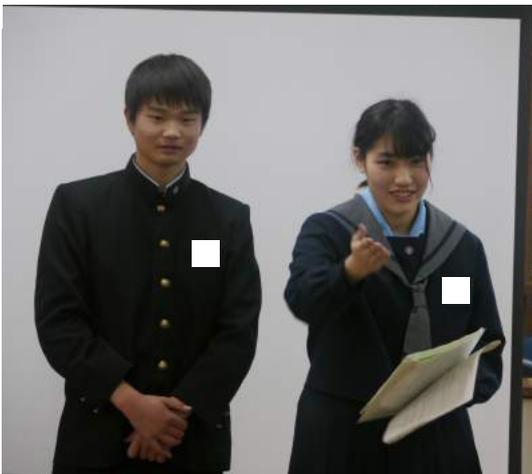
春日部市小学校陸上競技大会前

○小中合同学習会

夏季休業日3日間

～ 心をつなぐ取組 ② ～

豊かな心



小中をつなぎ、いわゆる中1ギャップの解消を図るために、3学期の時期に、中学校の教員が小学校に出向き、授業を行う、小中交流英語指導を行っています。また、中学3年生が、小学校に出向き、中学校の生活や勉強、ルールについて説明をする、中学校説明会を行っています。

また、小学校の合唱部と本校の有志が合同で、合唱教育研究会合唱祭に出場したり、合唱部のコンサートに参加をしています。

○小中交流英語指導

3学期

○小中交流合唱

1月、3月

○中学校説明会

3月



～ 食育の取組 ～

豊かが心

食に関する本校の課題は、「『家族と一緒に食事をとること』や『伝統的食文化や行事食を学ぶこと』」を大切だと思う割合がやや低いということでした。そこで、学校における食に関する指導の一層の充実と家庭による食への意識の向上を図ることで、この課題の克服、傾向の改善を目指すこととしました。

優秀作2点を本校と立野小の給食で提供



異年齢交流体験学習

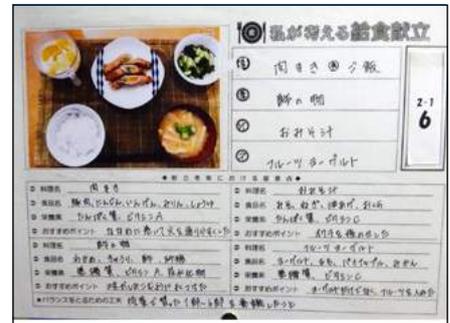
「成長期の運動と食事」



「世界の食文化」



最優秀献立



立野小配置の栄養教諭と本校教員とのTTによる「1学年学級指導」



「2学年給食献立コンクール」



立野小配置の栄養教諭と本校教員とのTTによる「3学年学級指導」



保護者を対象にした取組

「教養講座（食育）」



「給食試食会」



「食育レター」「食育だより」の発行



～ 協調学習（知識構成型ジグソー法）～

確かな学力

協調学習（知識構成型ジグソー法）の流れ

個別活動



知識を得る

エキスパート活動



他者に考えを伝える

ジグソー活動



まとめる力

知識を蓄える

未来を拓く力
確かな学力

振り返り活動



自己を見つめる

クロストーク活動



プレゼンテーション能力



未来を拓く



伝える力

指導案例

準備 3分	<p>【エキスパート活動】 A 各グループの資料から...考える。</p> <p>予想される生徒の反応 A どのグループの資料が... B 北道と南道の降水量が多い... C 陸奥などへの霧氷が充実</p> <p>●ICT活用 ●タブレットを活用して資料を提示する。</p>
展開 3分	<p><質問> 道産地方の自然環境の特色はなんだろう</p> <p>●話し方 ●指図を述べて話をしていくか ●道産地方の特色について質問し、詳しくまとめるか ●「論点」を整理させ、話し合いをさせる ●「論点」を整理し、明示する。</p> <p>●話し方 ●指図を述べて話をしていくか ●道産地方の特色について質問し、詳しくまとめるか ●「論点」を整理させ、話し合いをさせる ●「論点」を整理し、明示する。</p>
閉 5分	<p>●話し方 ●指図を述べて話をしていくか ●道産地方の特色について質問し、詳しくまとめるか ●「論点」を整理させ、話し合いをさせる ●「論点」を整理し、明示する。</p>

展開 3分	<p>【エキスパート活動】 A 各グループの資料から...考える。</p> <p>予想される生徒の反応 A 各グループの資料から...考える。 B 北道と南道の降水量が多い... C 陸奥などへの霧氷が充実</p> <p>●話し方 ●指図を述べて話をしていくか ●道産地方の特色について質問し、詳しくまとめるか ●「論点」を整理させ、話し合いをさせる ●「論点」を整理し、明示する。</p>
展開 3分	<p><質問> 道産と二酸化炭素は体内でどのように移動しているか？</p> <p>●話し方 ●指図を述べて話をしていくか ●道産と二酸化炭素の体内での移動について質問し、詳しくまとめるか ●「論点」を整理させ、話し合いをさせる ●「論点」を整理し、明示する。</p>
閉 5分	<p>●話し方 ●指図を述べて話をしていくか ●道産と二酸化炭素の体内での移動について質問し、詳しくまとめるか ●「論点」を整理させ、話し合いをさせる ●「論点」を整理し、明示する。</p>

「協調学習」は、自分の考えについて、仲間や先生を説得したり、仲間の考えを納得したりする場が生じ、生徒の自信を高めるのに効果的です。本校では生きて働く知識・技能の習得など、新しい時代に求められる資質・能力を育成するために協調学習に取り組みました。

～ 地域とのつながり～

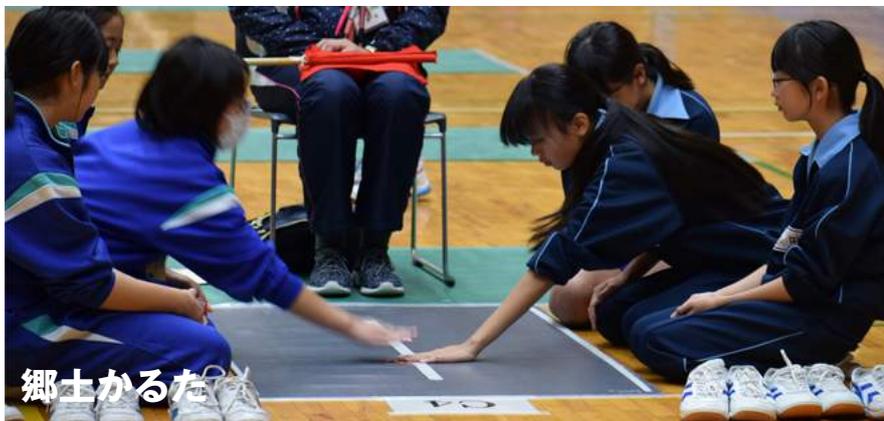
豊かな心



七夕飾り贈呈



敬老会での演奏



郷土かるた



近隣老人施設での演奏

社会のグローバル化が急速に進展する中で、子供たちが自ら将来を拓き、変化の激しい時代を生き抜いていくために、子供たち一人一人が創造力を身につけ、人財として輝けるよう、地域社会との連携を強化し、地域とともに子供たちを育てる取組を推進しました。

また、地域の事業所、施設、高等学校、小学校、幼稚園等の教育資源を活用して、個々の生徒がよりよい進路を実現するための体験活動を展開しました。

キャリア教育の視点



中学生社会体験チャレンジ事業



幼稚園訪問（保育体験）

～ 小中一貫の取組 ～



引き渡し避難訓練



避難訓練



合同下校避難訓練

小中をつなぐ取組として、合同避難訓練を実施しました。震度5強以上を想定した、弟妹のいる小学校に移動しての引き渡し訓練、震度5弱を想定した、地域の小学生と中学生が一緒に下校する合同下校訓練。兄弟姉妹だけでなく、地域のつながりを意識した訓練を実施しました。

また、夏季休業中には、指導者を招聘した小中合同による研修および小中共通の指導法、指導計画等の研究を実施しました。



合同研修（教科・領域）



合同研修（道徳）



合同研修（食育）



合同研修（ジグソー法）

～授業のUD化と振り返り～

確かな学力



作業の手順を視覚化



学習のスマールステップ化



学習課題の提示



ICTの活用



構造の視覚化



視覚に訴える教材

体験的活動等における振り返り

発達段階に応じ、深まりを高める発問

福祉講演会振り返りシート

1年 組 番 氏名 _____

今回の講演を振り返ってみよう！

今日の講演を聞いて学んだことはなんですか？

1 学年

福祉講演会振り返りシート

2年 組 番 氏名 _____

今回の講演を振り返ってみよう！

障害者スポーツやバリアフリーの施設はなぜ必要とされていると思いますか？

2 学年

福祉講演会振り返りシート

3年 組 番 氏名 _____

今回の講演を振り返ってみよう！

誰もが暮らしやすい社会をつくるためにわたしたちはどんなことができますか？

3 学年

各教科における振り返り

2年音楽自己評価カード②

2年 組 番 氏名 _____

日付	学習目標	学習内容	忘れ易	自己評価	先生からのコメント
1	✓			A B C	
2	✓			A B C	
3	✓			A B C	
4	✓			A B C	

音 楽

理科 自己評価シート

年 組 番 氏名 _____

日付	今日の目標	理解度 (A～E)	今日学んだこと (目標的にどんなことを学ぶことができたのか)

理 科

社会科自己評価カード

年 組 番 _____

日付	授業内容	理解度	評価 (A B C)	まとめ(わかったこと)

社 会